

- 令和2年7月6日、庄内川流域の関係自治体が一堂に会し、庄内川流域治水協議会を設置・開催。
- 気候変動による水害の頻発化、激甚化の備えとして、庄内川流域のあらゆる関係者が協働し、流域治水対策に取り組んでいくことを確認。
- 今年度末までに、流域内の各市町、県、国が行う流域治水対策を「庄内川流域治水プロジェクト」にとりまとめて公表し、対策を推進。
- 流域治水対策の検討にあたっては、名古屋市、多治見市からリーディング的に実施していく提案があり合意。

日時：令和2年7月6日（月）午後  
場所：ウィルあいち 3階大会議室  
出席者：清須市長、あま市長、大治町長  
他流域市町関係者（9市1町）  
岐阜県、愛知県  
国土交通省庄内川河川事務所  
約60名



ながた すみお  
永田純夫 清須市長



むらかみ こうじ  
村上浩司 あま市長



むらかみ まさお  
村上昌生 大治町長

### 自治体代表挨拶（清須市長）

- ・東海豪雨20年という節目の年にあたり、全国に先駆け、この庄内川で「流域治水への転換」を図っていくための協議会が設置されることは、大変心強い。
- ・流域の関係者が一丸となって治水対策に取り組んでいきたい。

### 協議会で出された意見等

- ・これまでの取り組み実績等を活かし、リーディング地区として検討を進めていきたい。（名古屋市、多治見市）
- ・本川だけでなく、支川も含めた流域全体での取り組みが重要。（瀬戸市）



### 庄内川河川事務所 西田所長挨拶

- ・河川管理者のみの治水だけではなく、流域全体での治水が必要不可欠。
- ・流域治水への転換が必須。

### 協議会の様子



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、マスク着用、消毒、検温等を徹底して開催。